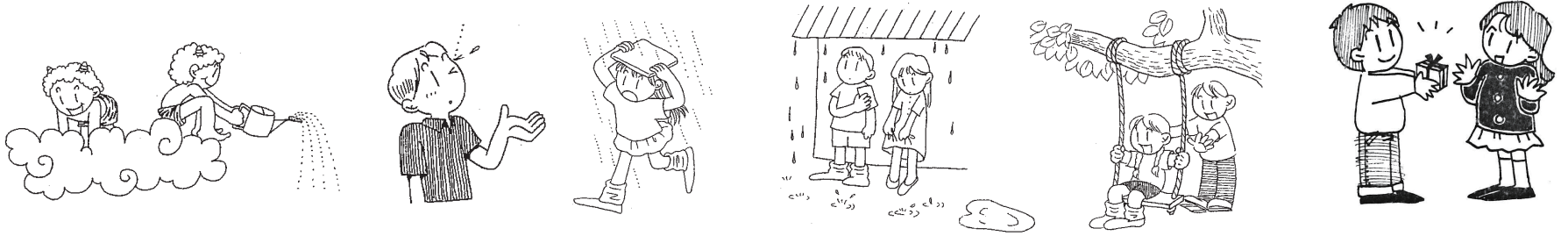


「思う心がめぐり合う。あなたを選んでくれた人をどうか大切にして下さい。」「ゲスト：縁結びの神様」（検索）



第34回 独身男女集まれ！ふれあい寿司さんまい

（女性には発酵の里こうざき米とさつまいも（シルクスイート）とふれあい縁結びまんじゅうと発酵食品をプレゼントします。）

- 1. 日時 平成29年7月9日（日）10時（時間厳守）～16時位。
- 2. 場所 神崎町ふれあいプラザ ナビは、神崎ふれあいプラザ TEL.0478-72-1601 で検索！
- 3. 参加費 女性 3,000円 男性 3,500円・他町の男性 6,000円
- 4. 服装 普段着、エフロン持参（3番目に申し込んだ女性に発酵の里こうざき名産酒で造った梅酒をプレゼント。）
- 5. 申し込み イベントの3日前までに男性は全員、ふれあいサークル事務局 酒井へ申し込み下さい。
女性には神崎町まちづくり課または酒井へ。神崎町まちづくり課 TEL. 0478-72-2114
酒井への電話は平日午後8時以降または休日 携帯 .080-1084-8671 酒井（時間厳守）
- 6. 参加資格 チームワークを重んじる独身男女。男性は全員抽選です。（他町の男性も申し込み可能）
男性は当日、免許証で本人確認あり。女性には先着順。（他町の女性は大歓迎です。）
- 7. 内容 共同作業とレクリエーションを通じて独身男女の交流を図り、自分で結婚相手を見付ける。
- 8. その他 女性には先着15名まで募集します。準備の都合上、キャンセルはご遠慮下さい。
女性には20代後半から40代まで。男性は30代から40代。 もしくは当会が認めた方。

縁結びまんじゅう
プレゼント



Q 神崎町の40代の男性です。婚活イベントに参加することが自分のためになると心では分かっているのですが、人の目が気になり参加することができません。言い訳をやめて自分の意識を変える解決策はありますか？

A 考えるだけでやらなければ自分の意識（心）を変えることはできないと思います。これは例えですが、ボランティア活動を皆に呼び掛けても本人は言うだけで実行しなければ見せかけのポーズだと皆に見透かされて笑われてしまいます。誰でも人の目が気になりますが、やらないで何かに付け言うだけの人や他人を何でも否定する人、そんな人は男女年齢を問わずどこにでもいます。そんな人を判断規準にするのではなく「まずは行動が先」。特に女性は気軽に挑戦してみることが大切だと思います。棚からぼた餅で思いもしない幸運を待つのではなくお料理教室で楽しみながら皆で仲良くご飯を食べてみましょう。こんな簡単で誰にでもできるゆるいサークルなので女性の方は何度でもお申し込み下さい。「自分で変えてみよう。今度の日曜日・・・。」

（文責：酒井誠）



「好きな言葉は行雲流水です。」

● ふれあいサークルは、地元のおじいちゃんと神崎町の参加者がイベントを企画・運営しています。

協力：神崎町まちづくり課

協賛：読売久松新聞店

協力：毛成まんじゅう不動保存会



「婚活 役場 千葉県」で検索！



御協力をお願い。

この広告を差し支えなければ、職場の職員通用口の壁にチラシを貼って下さい。
イベントについて分からない事がありましたらお電話下さい。（女性のみ）



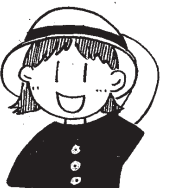
ふれあいサークルこうざき

代表 椿 一二

事務局 酒井 誠

携帯 .080-1084-8671（午後8時以降）

「神崎町がおもしろい」



この会の運営費は独身男女の参加費だけで運営しています。

女性参加者にプレゼントする

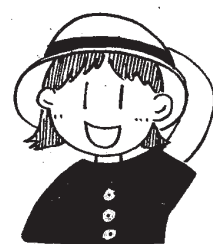
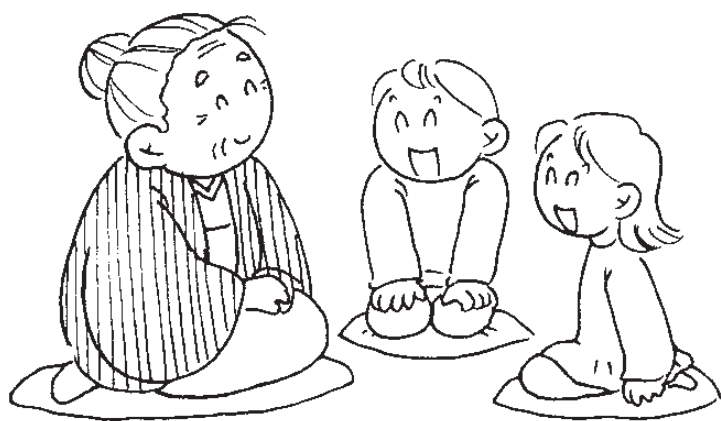
ふれあい縁結びまんじゅうは毛成地区のおばあちゃんにお願いして、作って頂くことになりました。

毛成まんじゅう不動保存会（毛成不動まんじゅう）の由来を聞きました。

正治貳年申年正月（一、二〇四年）毛成村の隣、草毛村にあった不動様が火災にあい、全焼してしまいました。この際、不動堂にあった御札が炎で舞い上げられ、風に運ばれて二十三町ほど離れた毛成村に舞い落ちました。火災から逃れてきたこの御札が落ちた場所に新たに不動堂を建立し、入佛式を行いましたら、この話を聞いた近隣の人々が、「火災除け・災難除け」のご利益があるとして大勢参脂するようになり大変賑わったといえます。元々この不動様は毛成村の円満寺別堂であったので、そのまま毛成村が管理することとなり現在に至っています。

不動様の命日である二十八の日、毛成では正月と盆月に饅頭を作って不動様にお供えしてきました。一時は露店も立ち並んだと言われていますから「まんじゅう不動」という行事として定着したのは、露天商という仕事ができ江戸時代頃からでしょうか。はじめは「火災除け・災難除け」のご利益があると言われていたものが、後に、「不動様の清水を飲むと産後の乳の出が良くなる」ともいわれるようにもなった訳は、こんこんと湧く清水の様子を見た参脂者から広まったようです。

約八百年前、一つの火災から始まったこの行事をこれからも大切に守っていく為に「毛成まんじゅう不動保存会」として活動を続けていきます。



「神崎町が面白い」